

■ 議会活動チェックシート (令和元年度)

令和2年9月3日
議会改革推進会議決定

| 基本項目 | 詳細項目 | 計 画 | | | | 検 証 | | | | |
|-------------|-------------------------|---|---|---|----------------------|---|---|---|--|---|
| | | 課題としていたこと | 解決方法 | 取り組む内容 | 取り組み時期 | 進捗度・達成度 | 取り組みの結果できたこと | 課題事項・問題点 | 住民から見た変化 | 今後の取り組み方法 |
| 情報公開 | 会議、審議資料の公開 | ライブ中継による会議の見せ方 | カメラワーク、会場の座席配置の工夫 | 音声については改善済みだが、それ以外の部分について事務局で随時研究していく。 | 随 時 | 継続・B | ・常任委員会の審議について、会場後方から全体が映るよう改善した。 ・可動式のカメラを導入し、中継手法を改善した。 | ・音声はある程度改善されたが、フェイスブック配信のため集音能力を高める必要がある。 ・カメラの画質の向上。 | ・聞こえやすくなった。 ・カメラが可動式になったことで視覚が向上した。 | ・集音機能及びカメラ画質の向上を検討する。 |
| | 各議員の活動状況の公開 | 議会だよりでの出欠状況公開など、情報をどこまで公開するか。 | 情報をどこまで公開するか対象を吟味し、基準をつくる。 | 次の公開(R2.5月1日号)までに議会改革推進会議で基準を検討する。 | 令和元年度 後半 | 完了・A | 議員全員協議会で公開基準を決定。議会だより4月15日号で公表した。 | — | 議会活動、その他の活動状況を数値で確認できるようになった。 | 実際の活動内容を議会だより、HP、SNS等で発信し、周知に努める。 |
| 住民参加 | 住民との意見交換のあり方 | かだって会議をH28以降開催していない。 | かだって会議を開催する。 | 議会改革推進会議において開催を検討する。 | 令和元年度 後半 令和3年度 後半 | 未着手・E | 令和2年3月に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために中止(延期)した。 | ・コロナ禍での開催方法、三密回避策 ・政策形成サイクルの起点(住民意見から政策課題テーマを設定)であり、今後のスケジュールにも影響がある。 | — | 政策形成サイクルとの関連もあり、コロナ禍での対応や進め方を検討する。 |
| | | 「かだって×かだって」の委員外議員の参加。もらった意見の処理方法。 | 委員外の議員が参加できるように配慮する。 | 次の取材までに広聴広報会議で対応を検討する。所管外の意見処理は議会改革推進会議に持ち込み、対応を協議する。 | 毎年度(年4回) | 継続・B | 全議員が懇談企画の開催日時を把握できるようにサイボウズオフィスで周知し、傍聴できるようにした。 | 広報紙の取材であり、委員外は傍聴のみとしたい。懇談で出された意見が処理されていない。 | 多くの議員が取材に関わっていることを知ることができた。 | これまでに出了された意見を広聴広報会議で整理した後、議会改革推進会議で対応を検討する。 |
| | | 議会モニター会議から得た広聴広報会議の所管外の意見処理(議会運営に関することなど) | 議会運営と広聴広報に関する意見処理をスムーズにするため、然るべき組織へ所管変更する。 | 議会モニター会議の所管を議会改革推進会議へ変更する。 | 毎年度 | 継続・B | 議会モニター会議の所管を議会改革推進会議に変更した。意見処理は調整作業中(一部実施済み) | 【意見の処理手順】議会改革推進会議で検討した内容を議員全員協議会で共有・決定する。 | 議会モニター意見の一部を議会活動に反映することができた。 | 議会改革推進会議を中心に、議会モニター意見の検討作業を継続する。 |
| | 住民への議会報告のあり方 | 議会報告会をH28以降開催していない。 | 「議会報告会を年1回以上開催」の条文中にこだわらない多様な報告の場の展開。 | 基本条例第8条第4項条文中「議会報告会を年1回以上開催」部分を削除する旨を会派共同提案し、条例改正する。 | 令和元年度 後半 | 完了・A | 基本条例第8条第4項条文中「議会報告会を年1回以上開催」部分を削除した。 | 条例を改正しただけで、意見交換(議会報告)の場を開いていない。 | なし。 現状ではマイナスイメージ | 条例改正については完了。 |
| | | | 各種意見交換の場で議会報告を併せて行う。 | 報告内容は、意見交換開催毎に議会推進会議で検討する。 | 随 時 | 未着手・E | — | 意見交換の場で報告する内容や実施方法などが決まっていない。 | 同上 | 各種意見交換の場で報告する内容や実施方法などを早期に決め、報告資料を作成する。 |
| 新たな住民参加のあり方 | 多様な層との意見交換の場や議会活動の発信の展開 | 多様な層に向けた、意見交換の場や議会活動の発信の場の創設、広報手段の展開 | まちなかの空き店舗やお休み処、土風館、市日などの機会を利用するなど、新たな取り組みを議会改革推進会議において検討する。 | 必要に応じて | 継続・D | 議会改革推進会議において今後の方向性を検討した。検討結果は、議員全員協議会で協議のうえ決定することとした。 | 開催方法や時期、内容などの詳細が決まっていない。 | — | 決定時期を設定し、議会改革推進会議で詳細を検討する。 | |
| 広聴広報会議のあり方 | 広聴広報会議の委員負担増大(領域・量) | 議会モニター会議の所管変更による負担減 | 議会モニター会議の所管を議会改革推進会議へ変更する。広聴広報会議の組織自体はそのまま継続する。 | 令和元年度 後半 | 完了・A | 議会モニター会議の所管を議会改革推進会議に変更した。 | 今後、議会としての「広聴」あり方の検討・整理が必要である。 | 議会モニターの所管変更後もモニター会議が定期開催され、過去に出された意見の検討状況などを報告しながら意見交換できた。(会議の内容は議会だよりなどで公表中) | 議会改革推進会議を中心に、議会モニター意見の検討作業を継続する。「(広聴広報のあり方)としては完了。今後は「住民との意見交換のあり方」の中で検証する。) | |

| 基本項目 | 詳細項目 | 計 画 | | | | 検 証 | | | | | |
|---------|------------------|------------------------|--|--|--|---------|--|--|----------|---|---|
| | | 課題としていたこと | 解決方法 | 取り組む内容 | 取り組み時期 | 進捗度・達成度 | 取り組みの結果できたこと | 課題事項・問題点 | 住民から見た変化 | 今後の取り組み方法 | |
| 議会の機能強化 | 委員会活動の活性化 | 充実した予算・決算の審査方法の検討 | 予算・決算を常任委員会化し、常任委員会所管事務調査と分科会審議をリンクさせることで、予算・決算審査を充実させる。 | 予算・決算常任委員会化を含め、審議活性化に向けた方策について議会改革推進会議が検討する。 | 令和元年度 後半 ～ 令和2年度 後半 | 継続・D | 議会改革推進会議で先進地視察を実施した(R2.1.8～9) | ・常任委員会化に向けた組織体制の検討。 ・事前勉強会の開催検討。(時期、運営主体、手法など) | — | ・予算・決算審議能力の向上(事前勉強会の開催)検討。 ・常任委員会化に向けた組織体制の検討を継続する。 | |
| | | 常任委員会における市民との意見交換の場の設置 | 各常任委員会によるテーマ別意見交換を実施する。 | 各常任委員会において政策課題の調査研究に併せて実施の検討をする。 | 令和2年度 ・ 令和4年度 | — | — | コロナ禍で、市民の意見を聴ける状況でない。感染症の終息が見えないため、任期後半からの実施も要検討。 | — | コロナ禍での政策形成サイクルの進め方を検討する。(市が実施した市民満足度アンケート調査の結果を活用、市民を集めず個別に取材 など) | |
| | 議員間討議の充実 | 議員間討議における内容・質の不足 | 質の向上に向けた研究や研修の場を設け、議員相互に高め合う。 | 先進議会の事例研究や、ファシリテーション研修の受講などの機会を随時設ける。 | 随 時 | 継続・D | R2.1.28 佐藤先生を講師に議員研修会を開催した。 ・議会改革第2ステージとは ・住民との意見交換のあり方 ・市職員とのワールドカフェ | ・R2.3.28のかだつて会議でファシリテーターの実践を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止(延期)した。 ・議員間討議の研修会の検討 ・コロナ禍での研修等の開催方法、あり方の検討 | — | ・コロナ禍での研修等のあり方、内容、講師等を検討する。 ・若手市職員とのワールドカフェは継続する。 | |
| その他 | 議員報酬のあり方と政務活動の充実 | 他の議会との交流・連携の推進 | 他の議会との交流・連携の活発化 | 袖ヶ浦市議会や新たな相手先との活発な交流・連携 | 議会改革推進会議において、袖ヶ浦市議会との今後の交流内容や、新たに当局が災害協定等を結んでいる自治体(小千谷市、小金井市、明和町、鱈ヶ沢町)との交流を検討する。 | 随 時 | 継続・D | ・令和元年の台風災害で被災した千葉県袖ヶ浦市に対して、同市議会を通じて支援物資及び義援金を送った。 ・各会派の視察、議長の出張等の機会を捉え、袖ヶ浦市議会を訪問し、意見交換等を行った。 | — | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、都市部への視察・旅行等が制限されている。(R2.3～) | リモート研修など、コロナ禍での交流のあり方を検討する。距離的にも近い鱈ヶ沢町議会との積極的交流も検討する。 |
| | | 議員報酬についての議論 | 議員報酬のあり方について結論を導くための議論を深める。 | 議会改革推進会議において方針や具体的な議論を行う組織を検討する。 | 令和元年度 ～ 令和3年度 | 継続・D | ・議会改革推進会議で先進地視察を実施した(R2.1.8～9) ・議員全員協議会で視察結果を報告し、議員報酬のあり方を検討した。(R2.2.17) | ・検討主体の組織。 ・検討するための材料。(活動実績など) ・社会情勢もあり、経済が回復するまでは結論を出せる状況にない。 | — | 議論継続についての可否、継続する場合は組織及び進め方を検討する。 | |
| | | 政務活動費についての議論 | 結論を導くための議論を深める。 | 議会改革推進会議において検討する。 | 令和元年度 ～ 令和3年度 | 継続・D | — | ・社会情勢もあり、経済が回復するまでは結論を出せる状況にない。 | — | 議論継続についての可否を検討する。 | |

*「優先度」 A：高、B：中、C：低

*「達成度」 A：全て(100%)、B：概ね(75%)、C：半分(50%)、D：一部(25%)、E：未着(0%)